

タカショー、総合カタログ『PROEX2026』を 2 月 2 日に発刊

～特集対談「庭の力と緑の力」収録。

価値の視点を提案へーエントランス／テラス／建材の提案領域を拡充～

ガーデンライフスタイルメーカーである株式会社タカショー（本社：和歌山県海南市、代表取締役社長：高岡伸夫、東証スタンダード：7590）は、プロガーデン&エクステリア総合カタログである『PROEX（プロエクス）2026～2027 上期（以下、PROEX2026）』を 2026 年 2 月 2 日（月）に発刊いたします。



【PROEX2026 表紙】



【PROEX2026 コンセプトイメージ】

PROEX2026 は、住宅・非住宅の屋外空間づくりに携わるプロユーザーの提案活動を支援するため、当社のコンセプトを伝える特集に加え、提案の幅を広げる新商品を掲載。さらに、拾い出しや積算などの実務をサポートするデジタルツール（DX）の情報も拡充しました。

◆2026 年のポイント

- （１）特集対談「庭の力と緑の力」：緑が価値を生む時代背景から、非住宅・住宅それぞれの視点で“緑の設計”を掘り下げます。
- （２）新商品の掲載：プロユーザーの提案の幅を広げる新商品をエントランス／テラス／建材の 3 領域で拡充しました。
- （３）業務支援ツールの公開：「人工芝積算システム」「タイル積算システム」を新たに公開し、積算業務をサポートします。

◆『PROEX2026～2027 上期』概要

発刊日：2026 年 2 月 2 日（月）

総ページ数：1810 ページ

- ・紙面カタログ 請求ページ <https://proex.takasho.co.jp/catalog/select>
- ・デジタルカタログ 閲覧ページ <https://proex.takasho.co.jp/catalog/online>

◆PROEX2026のポイント解説

（１）特集対談「庭の力と緑の力」 ～緑は“景観”を超え、都市と人をつなぐ“自然資本”となる～

タカショーは、やすらぎのある空間づくり（Heart&Art）を軸に、風・光・水・緑といった自然の要素をデザインに取り込み、家と庭が一体となる暮らし（Living Garden）を提案してきました。こうした空間の価値は、風・光・水・緑を五感で味わい、その心地よさを感じ取る「心」によって生まれます。当社はその考え方を、商品を通じた空間提案としてかたちにしてきました。

PROEX2026 では、この当社のコンセプトに通ずる視点として、「庭の力と緑の力」をテーマに特集対談を収録します。麻布台ヒルズの外構・緑地の設計からタウンマネジメントに携わる森ビル 清水一史と、当社代表取締役社長 高岡が、非住宅と住宅それぞれの視点から、緑の設計がどう変わろうとしているのか、そして新たに築かれようとしている「緑と人の関係」について語り合います。



本対談の舞台となる麻布台ヒルズは、都心の中心部でありながら「グリーン&ウェルネス」をコンセプトに広大な緑地を整備・運用しています。また、関西ではグラングリーン大阪をはじめ、緑を軸にした都市づくりが各地で展開されています。そのなかで、緑はあらためて単なる景観を超え、人が豊かに生きるために欠かせない自然資本として、また多様な価値を生む資産として捉えられるようになっていきます。

本対談では、緑を“自然資本”として捉える時代に、都市と住宅それぞれの場で緑の設計・提案がどう変わるのかを掘り下げます。緑の価値を五感と心の体験として捉え直し、これからの空間提案のヒントを探ります。

（２）提案の幅を広げる新商品

こうした価値観を背景に、PROEX2026 では「家の顔」を整えるエントランス、「住まい方」を外へ広げるテラス、非住宅の空間づくりにも応える建材の３領域で、新商品を拡充しました。

1. エントランス（「家の顔」を、端正に整える）



【エバーアートボード®門柱 ステンレージ】



【デザイナーズアーチ】

近年のフロント提案は、素材感や陰影、ディテールの整理で「住まいの印象」をつくる傾向が強まっています。PROEX2026では、宅配ポストを一体化しながら意匠をすっきりまとめた『エバーアートボード®門柱 ステンレージ』や、木漏れ日のような陰影を楽しむ『デザイナーズアーチ』など、門まわりの印象を端正に整える選択肢を拡充しました。

2. テラス（「住まい方」を、外へ広げる）



【フラップスクリーン】



【スライドスクリーン】

当社は、住まいの中と外をつなぐ空間づくりを「5thROOM®（5番目の部屋）」と呼び、その考え方を提唱してきました。近年では、屋外空間を暮らしの延長として捉える発想が住まいづくりのキーワードとして広がりを見せ、風や光の入り方、視線の受け方までを整えた提案が重視される場面が増えています。PROEX2026では、テラス空間を構成するホームヤードルーフのオプションとして、折戸の『フラップスクリーン』と引戸の『スライドスクリーン』を発売し、開放感と落ち着きを両立した空間づくりを後押しします。

3. 建材（非住宅の外部空間づくりに応える「面」の提案）



【アルミスパンドレル】



【インウッド®】

住宅の外構だけでなく、ホテルや商業施設など非住宅空間でも、外部空間の心地よさや滞在価値への期待が高まっています。当社はそうした非住宅の外部空間づくりに応えるため、外装・内装を含めた建材分野の提案も強化します。『アルミスパンドレル』は、溝カバーや照明の組み合わせで、陰影とリズムを生み出す意匠にこだわった外装化粧パネルです。さらに、エバーアートウッド®と同じカラー設定の木質ルーバー材『インウッド®』を発売し、外と内を自然につなぐ“面”の選択肢を拡充しました。

（3）リアル空間とデジタルをつなぐ、新たな業務支援ソリューション

当社はガーデン・エクステリア商品を通じて、心身ともに健康的な暮らしを提供する「ガーデンライフスタイルメーカー」として展開してまいりました。

私たちは商品をお届けするだけでなく、エンドユーザーとプロユーザーの間で「理想の暮らしのイメージ」を共有し、双方が納得して家づくり・庭づくりを進めていただけるよう、デジタル技術を活かした提案支援を専門とする

株式会社 GLD-LAB.を設立いたしました。2025 年には、設計者のビジュアル制作を効率化する AI サービス『庭プラス』や『EXVIZ® AI』を開発・提供しております。

2026 年はカタログの発刊に合わせ、新たに「人工芝積算システム」と「タイル積算システム」を公開いたします（無料/登録不要）。手間のかかる拾い出しや積算業務をデジタルでサポートすることで、限られたリソースの中でも提案検討をスムーズに進められるよう、今後も現場に寄り添った業務支援を一層強化してまいります。

タイル積算システム

概算金額やタイル総数、
カットが必要な枚数まで瞬時にわかる!



人工芝積算システム

人工芝の下地条件を選択することで
条件に合わせた材料費も自動で反映!



【参考情報】GREEN×EXPO 2027 への出展について

当社は、2027 年に横浜で開催される「2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」において、「花・緑出展」へ出展いたします。『庭から考える「Well-being」～心身の健康と幸せ～』をテーマに、300 m²の空間にタカショーグループの総力を結集し、私たちが追求する「庭の意味・想い」と、持続可能なガーデン文化の発展への願いを国内外へ広く発信してまいります。

<<株式会社タカショー 会社概要>>

◆営業本部所在地：

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-9 KDX 御茶ノ水ビル 2F

◆本社所在地：

〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂 20-1

◆事業内容：

- ・環境エクステリア（インドア及びアウトドア庭園、緑化）に関する製品の企画開発
- ・ガーデン用品の輸出入販売
- ・エクステリア商品のソフトウェア開発販売
- ・CAD、CG ソフトウェアの提供及び処理業務

◆ビジョン：

やすらぎのある庭空間を通じて、幸せな暮らしを創ります。

◆ホームページ：<https://takasho.co.jp/>

【カタログに関するお問い合わせ先】

株式会社タカショー
プロユース営業本部 友居（ともい）
電話：073-482-4128
メールアドレス：takasho@takasho.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タカショー
広報 IR 室 条（くめ）
電話：072-734-8505
メールアドレス：press@takasho.co.jp